

新薬開発状況

(2018年10月現在)

前回の決算発表時(2018年7月27日)からの変更箇所を下線

がん領域 (1/2)

*共同研究により創出された化合物を含む。

一般名 開発コード (製品名)	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階/地域	剤形	自社*/導入	Focus Area アプローチ
エンザルタミド MDV3100 (イクスタンジ®)	アンドロゲン受容体阻害剤	非転移性去勢抵抗性前立腺がん	承認(2018年10月)/欧州	経口	Pfizer	
		非転移性ホルモン感受性前立腺がん	P-III/米国、欧州、アジア			
		転移性ホルモン感受性前立腺がん	P-III/米国、欧州、日本、アジア			
ブリナツモマブ AMG 103 (ビーリンサイト®)	抗CD19 BiTE抗体	再発又は難治性のB細胞性急性リンパ性白血病	承認(2018年9月)/日本	注射	Amgen [アステラス・アムジェンと共同開発]	
ギルテリチニブ ASP2215 (ノスパタ®)	FLT3/AXL阻害剤	急性骨髄性白血病 (再発又は難治性)	承認(2018年9月)/日本 申請(2018年3月)/米国 P-III/欧州、アジア	経口	自社	
		急性骨髄性白血病 (寛解導入化学療法後の維持療法)	P-III/米国、欧州、日本、アジア			
		急性骨髄性白血病 (造血幹細胞移植後の維持療法)	P-III/米国、欧州、日本、アジア			
		急性骨髄性白血病 (新規診断、低強度の寛解導入化学療法との併用)	P-II/III/米国、欧州、日本、アジア			
		急性骨髄性白血病 (新規診断、強力な寛解導入化学療法との併用)	P-I/米国、日本			
デガレリクス ASP3550 (ゴナックス®)	GnRH受容体アンタゴニスト	前立腺がん(3か月製剤)	申請(2017年11月)/日本	注射	Ferring	
zolbetuximab IMAB362	抗Claudin 18.2 モノクローナル抗体	胃腺がんおよび食道胃接合部腺がん	P-III/米国、欧州、日本、アジア	注射	自社 (Ganymed)	
enfortumab vedotin ASG-22ME	ネクチン4を標的とするADC	尿路上皮がん	P-III/米国、欧州、日本、アジア	注射	自社 [Seattle Geneticsと 共同開発]	
AGS-16C3F	ENPP3を標的とするADC	腎細胞がん	P-II/米国、欧州	注射	自社 (ADC技術をSeattle Genetics から導入)	

がん領域 (2/2)

*共同研究により創出された化合物を含む。

一般名 開発コード (製品名)	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階/地域	剤形	自社*/導入	Focus Area アプローチ
ASP1650	抗Claudin 6 モノクローナル抗体	精巣がん	P-II/米国	注射	自社 (Ganymed)	
ASP1235/AGS62P1		急性骨髄性白血病	P-I	注射	自社 (EuCODEを用いた ADC技術を Ambrxから導入)	
ASP8374/PTZ-201		がん	P-I	注射	Potenza Therapeuticsとの オプション契約	バイオロジー:がん免疫
ASP1948/PTZ-329		がん	P-I	注射	Potenza Therapeuticsとの オプション契約	バイオロジー:がん免疫
ASP1951/PTZ-522		がん	P-I	注射	Potenza Therapeuticsとの オプション契約	バイオロジー:がん免疫

前回の決算発表時(2018年7月)からの変更点:

エンザルタミド(MDV3100):ハイリスクの非転移性去勢抵抗性前立腺がんを適応症として、2018年10月に欧州で承認を取得した。米国における非転移性去勢抵抗性前立腺がんの承認に関する記載を削除した。

ブリナツモマブ(AMG 103):再発又は難治性のB細胞性急性リンパ性白血病を適応症として、2018年9月に日本で承認を取得した。

ギルテリチニブ(ASP2215):再発又は難治性のFLT3遺伝子変異陽性の急性骨髄性白血病を適応症として、2018年9月に日本で承認を取得した。

ASP1650:精巣がんを対象とした開発を開始した。

ASP1951/PTZ-522:がんを対象とした開発を開始した。

AGS67E:悪性リンパ腫を対象疾患としてPhase 1段階にあった開発を中止した。

免疫科学、筋疾患及び眼科疾患領域

*共同研究により創出された化合物を含む。

一般名 開発コード (製品名)	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階/地域	剤形	自社*/導入	Focus Area アプローチ
ペフィシチニブ ASP015K	JAK阻害剤	関節リウマチ	申請(2018年5月)/日本	経口	自社	
bleelumab ASKP1240	抗CD40モノクローナル抗体	生体腎移植患者における再発性巣状糸球体硬化症	P-II/米国	注射	協和発酵キリン	
ASP4070/ JRC2-LAMP-vax	スギ花粉DNAワクチン	スギ花粉症	P-II/日本	注射	Immunomic Therapeutics	モダリティ/テクノロジー: LAMP-vax テクノロジー
ASP5094	抗alpha-9インテグリン モノクローナル抗体	関節リウマチ	P-II/日本	注射	自社	
reldesemtiv CK-2127107	速筋トロポニン活性化剤	脊髄性筋萎縮症	P-II/米国	経口	Cytokinetics	バイオロジー:分子モーター
		慢性閉塞性肺疾患	P-II/米国			
		筋萎縮性側索硬化症	P-II/米国			
ASP7317	細胞医療(網膜色素上皮細胞)	萎縮型加齢黄斑変性、Stargardt 病	P-II/米国	注射	自社 (Astellas Institute for Regenerative Medicine)	モダリティ/テクノロジー: 細胞医療
MA-0211		デュシェンヌ型筋ジストロフィー	P-I	経口	自社 (Mitobridge)	バイオロジー:ミトコンドリア
ASP0892		ピーナッツアレルギー	P-I	注射	Immunomic Therapeutics	モダリティ/テクノロジー: LAMP-vax テクノロジー

前回の決算発表時(2018年7月)からの変更点:

タクロリムス(FK506):2018年5月に米国で承認を取得したタクロリムス小児用顆粒製剤(臓器移植における拒絶反応の抑制)を削除した。

泌尿器及び腎疾患領域

*共同研究により創出された化合物を含む。

一般名 開発コード (製品名)	薬効／作用機序	対象疾患	開発段階／地域	剤形	自社*／導入	Focus Area アプローチ
ソリフェナシン YM905	ムスカリンM ₃ 受容体拮抗剤	小児の神経因性膀胱	申請(2017年2月)／米国	経口	自社	
ロキサデュスタット ASP1517/FG-4592	HIF安定化剤	慢性腎臓病(透析期)に伴う貧血	申請(2018年9月)／日本 P-III／欧州	経口	FibroGen	
		慢性腎臓病(保存期)に伴う貧血	P-III／欧州 P-III／日本			
ミラベグロン YM178	β ₃ 受容体作動薬	小児の神経因性膀胱	P-III／欧州	経口	自社	
ASP6294	神経成長因子中和抗体	膀胱痛症候群／間質性膀胱炎	P-II／欧州	注射	自社	
ASP8302	ムスカリンM ₃ 受容体陽性 アロステリック修飾物質	低活動膀胱	P-II／欧州、日本	経口	自社	
ASP7713		低活動膀胱	P-I	経口	自社	
MA-0217		急性腎障害	P-I	注射	自社 (Mitobridge)	バイオロジー:ミトコンドリア

前回の決算発表時(2018年7月)からの変更点:

ソリフェナシン/ミラベグロン(EB178):2018年4月に米国で承認を取得したソリフェナシンとミラベグロンの併用療法(尿意切迫感及び頻尿の症状を伴う過活動膀胱)を削除した。

ロキサデュスタット(ASP1517/FG-4592):透析期の慢性腎臓病に伴う貧血を適応症として、2018年9月に日本で申請した。

YM311/FG-2216:腎性貧血を対象疾患とした開発に関する記載を削除した。

その他

*共同研究により創出された化合物を含む。

一般名 開発コード (製品名)	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階/地域	剤形	自社*/導入	Focus Areaアプローチ
リナクロチド ASP0456 (リンゼス®)	グアニル酸シクラーゼC 受容体作動薬	慢性便秘症	承認(2018年8月)/日本	経口	Ironwood	
ロモズマブ AMG 785	抗スクレロステチン モノクローナル抗体	骨折の危険性の高い骨粗鬆症	申請(2016年12月)/日本	注射	Amgen [アステラス・アム ジェンと共同開発]	
イブラグリフロジン ASP1941 (スーグラ®)	SGLT2阻害剤	1型糖尿病	申請(2018年1月)/日本	経口	自社 [寿製薬と共同 開発]	
エボロクマブ AMG 145 (レパーサ®)	抗PCSK9モノクローナル抗体	スタチン不耐性患者における高コレステロール血症	申請(2018年8月)/日本	注射	Amgen [アステラス・アム ジェンと共同開発]	
フィダキソマイシン	大環状抗菌剤	小児におけるクロストリジウム・ディフィシル感染症	P-III/欧州	経口	Merck	
fezolinetant ESN364	NK3受容体拮抗薬	更年期に伴う血管運動神経症状	P-II/米国 P-I/日本	経口	自社 (Ogeda)	
ASP0819	カルシウム活性化 カリウムチャネル開口薬	線維筋痛症	P-II/米国	経口	自社	
ASP4345	ドーパミンD ₁ 受容体陽性 アロステリック修飾物質	統合失調症に伴う認知機能障害	P-II/米国	経口	自社	
isavuconazole ASP9766	アゾール系抗真菌剤	小児における侵襲性アスペルギルス症および 侵襲性ムーコル症	P-II/米国	注射	Basilea	
ASP1807/CC8464		神経障害性疼痛	P-I	経口	Chromocell	
MucoRice-CTB		コレラ菌による下痢症の予防	P-I	経口	東京大学 医科学研究所	

前回の決算発表時(2018年7月)からの変更点:

フィダキソマイシン:2018年7月に日本で承認を取得した感染性腸炎(適応菌種:クロストリジウム・ディフィシル)を削除した。
 リナクロチド(ASP0456):慢性便秘症(器質的疾患による便秘を除く)を適応症として、2018年8月に日本で承認を取得した。
 エボロクマブ(AMG 145):スタチン不耐性患者における高コレステロール血症を適応症として、2018年8月に日本で申請した。
 isavuconazole(ASP9766):小児における侵襲性アスペルギルスおよび侵襲性ムーコル症を対象とした開発を開始した。
 ASP6981:統合失調症に伴う認知機能障害を対象として Phase 1段階にあった開発を中止した。